

令和4年6月定例会請願文書表

請願番号	請願第12号
件名	市民の生命と暮らしを守るため国保料の引き下げを求める請願の件
請願者	八尾市服部川6-392-6 八尾市国保をよくする会 吉川 均(外署名1,006名)
請願要旨	全文(写し)の通り
紹介議員	田中 裕子、越智 妙子
付託委員会	健康福祉環境
受理年月日	令和4年5月26日

2022年 5月 26日

市民の生命と暮らしを守るため 国保料の引き下げを求める請願

八尾市議会 議長
奥田 信宏 様

(八尾市国保をよくする会)
八尾市服部川 6-392-6
吉川 均
(他 1006 筆)

【請願趣旨】

平素は、市民の生命と暮らし、福祉の増進に日々努力されていることに敬意を表します。また、この間のコロナウィルス感染防止対策等のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、最大限の対策を講じられることを切に望むものです。

この度、八尾市3月市議会で令和4年度の国民健康保険料の引き上げ案が審議され、賛成多数で可決されました。引き上げの提案では、令和6年度での府内統一保険料を見据えて、前倒しで令和4年と5年にかけて応能割と応益割の賦課割合の見直しが計られました。現在の応能割50%、応益割50%の比率を45対55に変更されます。

ご承知のように、国民健康保険に加入される世帯は事業所得や低収入、年金生活者、非正規で働く労働者も含まれ、所得が年間250万円以下が全加入者の8割近くに達しています。国保料も八尾市が試算している資料では、年所得250万円の4人世帯では軽減されても年間49万円余りの高い保険料となっています。

その上に応益割の比率が高くなれば均等割額も上がり、人数分が加算され負担増となるのは明らかです。コロナ禍のもと感染拡大で仕事での減収等が家計を圧迫したり、諸物価の高騰で生活不安が増しています。

今回の国保料の賦課割合の改定を中止し、基金を活用するなど国保料の引き下げを求めるものです。

【請願項目】

- 1、国民健康保険料の賦課割合の改定をやめ、基金など活用し国保料を引き下げること

(紹介議員)

田中 裕子

越智 妙子